

第2回 豊田市「水素社会の未来を語る」シンポジウム

—クルマ・工場・まちで進む社会実装—

2026年12月10日(木)14:30~17:00

(受付14:00~)

会場

豊田産業文化センター 小ホール

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町 1 丁目25

参加費 無料

会場定員 200名

(オンライン同時開催)

スケジュール・講演内容

14:30~14:35

開会挨拶 (豊田市長 太田稔彦)

14:40~15:05

講演①

『水素・アンモニア政策の現在地と今後の展望』

資源エネルギー庁 水素・アンモニア課 課長補佐 奥村滉太郎 氏

15:10~15:35

講演②

『水素を含めた3電池連携とサービス』

パナソニック エレクトリックワークス株式会社 谷紀子 氏

15:35~15:45

休憩

15:45~16:35

講演③

『水素エネルギーの将来展開と中部地域への期待』

九州大学 主幹教授 佐々木一成 氏

16:40~17:00

全体総括・閉会挨拶 (愛知工業大学 教授 近藤元博)

登壇者



九州大学 運営方針委員・サステナブル水素研究所 主幹教授

佐々木 一成 氏

水素・燃料電池の材料・プロセス研究を基盤に、燃料電池から水電解、エネルギーシステムまで幅広く研究を展開。2026年4月に設立された九州大学「サステナブル水素研究所」では、水素の製造・輸送・貯蔵・利用をつなぐ研究体制のもと、水素利活用分野を牽引し、持続可能な水素エネルギー社会の実現に向けた研究・実装を推進。



経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
水素・アンモニア課 課長補佐

奥村 滉太郎 氏

2015年経済産業省入省。福島復興、地方創生、新型コロナ対応、DX推進等に従事。2023年にフィンランド・アアルト大学へ留学しIDBMを専攻。帰国後は内閣官房で国会・官邸業務を担当。2026年1月より資源エネルギー庁水素・アンモニア課総括補佐として、水素・アンモニアの市場形成や需要創出、企画立案に携わる。



パナソニック エレクトリックワークス株式会社
ソリューションエンジニアリング本部 主幹

谷 紀子 氏

パナソニックエレクトリックワークス社にて、水素を活用したエネルギーソリューションの事業推進に従事。純水素型燃料電池・太陽電池・蓄電池を組み合わせた分散型エネルギーシステムの実証や、水素サプライチェーンの構築、海外展開を推進。



愛知工業大学 教授

近藤元博

名古屋大学大学院修了後、トヨタ自動車で国内外の資源・エネルギー問題を担当。愛知工業大学総合技術研究所教授として燃料電池・水素など脱炭素エネルギーの研究と産学連携を推進。

主催 豊田市
Toyota City

AIT 愛知工業大学

共催 iZEC あいちゼロカーボン推進協議会
ゼロカーボンを通じる県庁行政コラボレーション

後援 愛知県
Aichi Prefectural Government

経済産業省
中部経済産業局
Chubu Bureau of Economic Trade and Industry

環境省
中部環境局
Chubu Environment Bureau

こちらのリンク・二次元コードよりお申込みください

<https://forms.cloud.microsoft/r/hS6gekADAw>

※申込期限：2026年12月8日（火）12:00まで



運営元
問合せ先

株式会社ドリームインキュベータ 水素セミナー担当
h2-sympo@dreamincubator.co.jp